

<高等部もう教育部門理療科>

学校教育目標
仲間と共に、明るく健康に自らを高めていく子ども

育てたい生徒の姿

- 自身の障害特性を理解し、健康的な生活について学び、実践することのできる生徒
- 主体的に学習に取り組み、理療の知識・技術、施術者としてふさわしい態度を追究する生徒
- 自分と他者を理解、尊重し、社会の中での自身の役割を見つけることのできる生徒

項目	実践事項・努力事項	年間計画
●学習指導 (含、自立活動活動、情報教育)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら施術者としての資質・能力を身に付けていくことができるよう、教科・科目のつながりに留意した指導を行う。また、家庭学習を習慣づける。 ○ 臨床実習など地域住民との交流を通じた実践的な学習活動を行うことで、地域や社会と共生することの重要性を身に付ける。 ○ 見え方に応じた情報の取得方法や安全な歩行技術の獲得を目指し、自立訓練を実施する。 	臨床実習、課外自立活動指導
●生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者とのコミュニケーションを通して、自己理解を促し、よりよい人間関係を形成できるようにする。 	理療科内での交流授業の実施、生徒指導部との連携
●進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの進路の実現に向けて、必要な知識・技能の習得が行える学習環境を整備し、計画的に指導に当たる。 	関係施設の見学・体験学習の実施
●保健 給食指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康に働くための体力作りや個々の障害に応じた健康教育を継続的に実践する。 	
●保護者、 関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と家庭、それぞれの生活を両立できるよう連携を取る。 	必要に応じて実施